

山口県高P連 会報

平成29年11月7日発行

17号

発行 山口県公立高等学校PTA連合会
〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館2F
TEL 083-923-4761 FAX 083-923-4785
http://ymg-kpren.jp/ E-mail ymgt.koup@etude.ocn.ne.jp

「いあいさし」

山口県公立高等学校PTA連合会
会長 板谷 正



秋冷の候、會員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より山口県公立高等学校PTA連合会の活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年年度に引き続き、本会の会長を務めさせていただきます。本年度もよろしく願い申し上げます。

早いもので、私自身、本会の役員に就任して8年目の秋を迎えました。本会の長い歴史から見れば、たったの8年間でありますが、振り返ってみれば多くの出来事がありました。

就任当初は、2008年秋に起こったリーマンショックの影響で世界的金融危機から、日本でも雇用不安が深刻化していた時期で、子ども達の就職も大変苦勞していたことを思い出します。

教育の現場におきましても、「少子高齢化」「生産年齢人口の減少」「グローバル化」など、子ども達を取り巻く環境は加速度的に変化をし、不安定で先を見通すことができない社会を、「力づく」生き抜いていける人材教育が急務であるとの考えが出始めた時期で、その後の平成28年には中央教育審議会により次期教育指導要領の変更に対する答申が発表され、平成29年3月には新教育指導要領が発表されております。

また昨今、社会が子ども達に求める能力も多様化しており、人材教育最後の学びの場となる大学の入試制度も2020年度からは大きく変更が予定され、教育現場はもとより、高校生の進路選択にとってもかなりの影響が予測されます。

子ども達が出て行く社会の産業界を見ても、例えば、ほんの数年前に初めて耳にした3Dプリンターという新技術ですが、たった数年で製造業界におきましては当たり前の、無くてはならない技術へと成長しております。また、AIいわゆる人工知能の登場は、これまでの教育では対応しきれない領域へと進んできております。

このように変化し続ける社会を、力づくよく生き抜いていける人材を社会に送り出して行くためには、子ども達自身も、自らの幸せな人生を設計し、成長していくことが重要であり、これまで受けてきた偏差値至上主義的な詰め込み型教育ではなく、複雑な課題に対し、新たな価値観を創造できる力をつけさせる教育が必要であると考えます。

教育環境の変化に、私たちPTAも対応し何ができるのかを改めて検証し実行していくため、「育て、生きるチカラ！PTAは子ども達の応援団」をテーマに、時。さらに「一歩踏み出そう」をテーマに、本年7月14日に、第59回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 山口大会を開催いたしました。

数年前から県内全体で構成する実行委員会を立ち上げ、準備をしてきましたことにより、大会を無事開催することができ、多方面より過分なるご評価をいただいたお礼です。これもひとえに會員皆様の多大なるご理解・ご協力の賜物でありますことに、改めて心より感謝申し上げます。

中・四国大会でもご紹介させていただきましたが、山口県が舞台となった明治維新も、来年150周年を迎えます。その立役者の一人であった高杉晋作は、力づくよく生きな句を讀んでおります。「おもしろきことも無き世におもしろく」。この句には、晋作が亡くなった後、晋作の志を理解し支えてきた女流詩人野村望東により下の句「すみなすも

のは心なりけり」が付け加えられております。晋作の社会に対する思いと、その晋作を支えてきた者により完成されたこの句は「自分の気持ちや、考え方次第で、人生は面白くも、つまらなくもなる」と意味し、命をかけて取り組んだ明治維新に、また維新が成し遂げられた後の世に、また語っているのではないかと思います。

この句の持つ意味は、現代社会に置き換えても全く同じではないでしょうか。変わりゆく社会の中で、確実に生きていくためには、自信がしっかりとった考えを持ち、主体的に行動することが何より重要であること。また強い思いを実現させるには、本人の考えはもとより、それを支える者との思いが一致してこそ「志がカタチ」となるのではないでしようか。

保護者であり、教師である私たちPTAは、子供たちの持つ「志」を理解し、支えていく重要な役割があると信じております。

私自身、山口県公立高等学校PTA連合会の役員としましては本年が最後の年となりますが、これまで脈々と続いてきた本会の活動の流れを止めぬよう、教育行政にとっても維新の年となる2020年、しっかりと時代を見据えた活動を継続していきけるよう本年も全力で職務を努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

【お知らせ】
【臨時総会・情報交換会のお知らせ】
 ※中国・四国地区高P連大会山口大会決算報告等
 日時：平成30年1月26日(金)
 16時～ 臨時総会
 17時30分～ 情報交換会（教育懇談会）
 会場：ホテルかめ福（山口市湯田温泉）

平成30年度
山口県公立高等学校PTA連合会 総会
 日時：平成30年6月1日(金)13時～
 会場：ホテルかめ福（山口市湯田温泉）

平成30年度
第60回中国・四国地区高P連大会
愛媛大会
 日時：平成30年7月18日(水)
 会場：ひめぎんホール（松山市）

平成30年度
第68回全国高等学校PTA連合会大会
佐賀大会
 日時：平成30年8月20日(月)21日(火)
 会場：佐賀県総合体育館、佐賀市文化会館他
 （佐賀市、唐津市、鳥栖市、嬉野市）

第70回山口県高P連総会

6月2日(金) ホテルかめ福で開催されました。

7月に控えた平成29年度第59回国・四国地区高P連大会山口大会について大会要項、大会運営組織・役割分担について協議され、大会までは常任委員会兼実行委員会において準備を進めていくことになりました。

また、研究協議として「山口県高P連の活動について」というテーマで板谷正会長が発表されました。この内容が7月開催の中国・四国地区大会山口大会における開催発表となります。

なお、総会では次の議案が可決承認されました。

- 平成28年度事業報告並びに収支決算
 - 平成28年度見舞金収支決算
 - 平成28年度研究討議基金収支決算
 - 平成29年度役員改選
 - 第59回国・四国地区高P連大会山口大会要項案及び運営組織案
 - 平成29年度事業計画並びに収支予算案
 - 平成29年度見舞金収支予算案
 - 平成29年度研究討議基金収支予算案
- 総会では次の皆様が教育長表彰・会長表彰を受賞されました。(敬称略)
- 教育長表彰受賞者
中 磯 和子(高森)
- 藤 井 美 里(佐波/南陽工業)
- 清 水 真 弓(防府西)
- 中 村 隆 秀(防府商工)
- 近 藤 京 子(防府商工)

- 越 智 寛 之(西京)
- 一 柳 大 志(下関南)
- 松 井 真 由 美(下関中等)
- 片 山 直 之(長府/下関中央工業)
- 会長表彰受賞者
- 末 松 晃 一(岩国総合)
- 田 中 典 也(岩国工業)
- 高 月 義 夫(柳井商工)
- 堀 田 嘉 信(田布施農工)
- 玉 泉 瑞 穂(光)
- 和 崎 真 由 美(熊毛北)

- 杉 谷 一 則(徳山)
- 兼 重 ヨウコ(徳山・鹿野)
- 佐々木 照彦(新南陽)
- 吉 井 信 博(南陽工業)
- 野 村 新 一 郎(防府・佐波)
- 中 谷 泰 泰(防府西)
- 吉 松 博 文(山口・徳佐)
- 武 田 尚 文(宇部中央)
- 小 柳 朋 治(宇部西)
- 大 田 智 亮(宇部工業)
- 神 野 正 功(小野田工業)
- 藤 井 秀 孝(美祢青嶺)
- 山 下 充 子(西市)
- 進 藤 充 宏(豊浦)

岩 谷 美 浩(下関工業・下関工科)

林 敏 一(豊北)

小笠原 吉人(大津緑洋・水産)

田 村 洋 子(大津緑洋・日置)

崎 永 貴 司(下松工業・定時制)

田 原 一 義(山口・定時制)

土 屋 光 代(下関工業・下関工科定時制)

受賞されました皆様、大変お疲れ様でした。

なお、総会後の会長会議、これに続く教育懇談会では昨年同様多くの会員の皆さまに出席をいただき会員同士親しく意見交換・情報交換ができました。



山口県高P連組織の概要

- 【名称】山口県公立高等学校PTA連合会
- 【構成】山口県内の公立高等学校PTAをもって組織
全日制-県立51校、市立1校、分校7校の計59校
定時制-県立13校、市立1校の計14校
- 【目的】各単位PTA相互の連絡提携を図り、相協力して高等学校PTAの発展と教育の振興を図る。
- 【主な事業】
1 各単位PTA間の連絡提携(委員会、総会、地区別研究・連絡協議会等)
2 高校教育の振興に関する調査研究(全高P連と連携~アンケート調査等)
3 文教政策への建議と意見の公表(全国、中・四国大会での協議、要書等)
4 教育、行政機関・教育諸団体との連携(諸大会参加、事業への協力・後援等)
5 見舞金事業
- 【機関】総会(年1回、6月開催) 常任委員会(年5回、5・7・9・2・5月)
- 【役員】平成29年度
- | | | |
|-----|-------|------------------|
| 顧問 | 寺本 隆宏 | (前県PTA連合会会長) 留任 |
| 会長 | 板谷 正 | (下関商業高校PTA会長) 留任 |
| 副会長 | 河村 聡子 | (徳山商工高校PTA会長) 新任 |
| | 八橋 秀治 | (厚狭高校PTA会長) 留任 |
| | 森岡 智之 | (豊北高校PTA会長) 新任 |
| | 阿武 慎治 | (山口中央高校校長) 新任 |
| 監事 | 竹屋 宏志 | (西京高校PTA会長) 新任 |
| | 吉岡 光雄 | (大津緑洋高校PTA会長) 新任 |
| 幹事 | 吉地 宏明 | (山口高校教頭) |
| | 内田 松典 | (山口中央高校事務長) |
- 常任委員
- | | | |
|-----------|-----------|-----------------|
| 岩国地区PTA会長 | 中 本 真由美 | (高 森) |
| 校 長 | 奈 忠 夫 | (岩 国) |
| 柳井地区PTA会長 | 鳥 枝 正 | (田布施農工) |
| 校 長 | 御 神 本 実 | (柳 井) |
| 周南地区PTA会長 | 水 繁 茂 | 則 則 (光) |
| P T A 会 長 | 森 須 太郎 | (華 陵) |
| 校 長 | 伊 藤 郁 政 | (山 口 農 業) |
| 山防地区PTA会長 | 宮 地 利 夫 | (防 府) |
| 校 長 | 久 保 田 満 弘 | (小野田工業) |
| 長南地区PTA会長 | 阿 賀 一 夫 | (宇 部) |
| P T A 会 長 | 古 岡 裕 治 | (宇 部 南) |
| 校 長 | 岡 本 根 二 郎 | (下 関 工 業 ・ 工 科) |
| 下関地区PTA会長 | 山 根 平 村 透 | (下 関 西) |
| P T A 会 長 | 山 根 平 村 浩 | (下 関 商 工) |
| 校 長 | 大 河 高 木 修 | (山 口) |
| 長北地区PTA会長 | 河 村 浩 司 | (下 関 農 業) |
| 校 長 | 中 村 修 | (山 口 農 業) |
- 【事務局】山口市大手町2番18号 山口県教育会館2F
(TEL: 083-923-4761、FAX: 083-923-4785)
事務局 局長 久芳 善人 事務職員 清水 典子
事務局 次長 山本 貴司

第59回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 山口大会報告

事務局長 久芳善人

平成29年7月14日（金）
場 所 下関市海峡メッセ下関
主 題 「育て、生きる力！」

PTAは子ども達の応援団」
～今、変革の時。～

参加者数 1612人
さらに一歩踏み出そう～



シンボルマーク

一番心配していた大会当日の天候は晴れ時々曇り、ツイてる。スタッフ・役員は集合時間の8時を待たずに会場に全員集合。最後の打合せを済ますと、段取りよくすぐに関門ブルーのポロシャツに身を包んだ全スタッフが躍動を始めた。しばらくして、高校生による物販の声が外で響き始めました。その声は徐々に夏空を押し上げ、大会

の成功を予感させてくれるものでした。ちなみに物販は完売だったということです。（ヨカッター）。一方、会場内では下関中央工業高校創立100周年時の生徒さんたちの手により制作された素晴らしい屏風が大会会場に花を添えていました。壇上に設置されたこの屏風は開催地下関を象徴する目を見張るもので、これを背景に大会は進められました。他県からの参加者の多くが休憩時間に屏風を背景にカメラに納



まっています。このような形で高校生のみなさんにも支えていただきました。高校生の皆さんや関係の皆様方にもお礼申し上げます。

さて、大会開会式では山口県副知事、下関市長をはじめ多くの来賓をお迎えし、大会実行委員会の八橋秀治副委員長の開会宣言に始まり、下関市出身のソプラノ歌手野々村彩乃さん（2010年選抜高校野球大会で高校

生として国歌独唱で有名）の透き徹った国歌独唱は一気に会場を厳粛なものへと変え、ピーンと張り詰めました。そして板谷正大会実行委員長が登壇し

今大会への思いを込めた開会の挨拶、そしてご来賓のご祝辞と続きました。開会の式典も厳かなうちに終わり、休憩を挟んで講演となりました。講師は、文部科学省初等中等教育局財務課長の伊藤学司氏（前長野県教育委員会教育



長、文部科学省生涯学習政策局元社会教育課長)が『これからの高校教育とPTAの役割』と題し、1. これからの社会 2. 日本の高校生の現状 3. 学習指導要領改訂の方向性 4. 高大接続改革 5. 学校を取り巻く環境について、多くの資料をもとに行政説明にならないようテンポ良く、時には楽しく説明されました。最後に、これからのPTA活動については新たな存在と役割が求められており『PTAは学校に最も身近な「社会」』であるともまとめられました。講演後、その内容についての反響は大きく、講演で使用された

資料の請求が山口県はもとより他県の参加者からも多く寄せられました。あまりにも資料請求の要望が多かったため、資料については各県の高P連を通して配布するとアナウンスすることとなり、翌週明け早々に送付することとなりました。午後は、アトラクションとして、毎年5月にある地元下関の先帝祭の時に執り行われる「海峡上臈絵巻」(上臈参拝)で盛り上がりました。県内の者でも間近に見ることはなかなか難しく、上臈道中やその途中での外八文字の足の運び、そしてステージでの舞いなどその絢爛豪華さ美しさに参加者は目を奪われました。その後、フラッシュの光はあちこちで絶えることはありませんでした。そして、その余韻をひきずらないよう休憩を置き、大会のメインイベントである研究協議となりました。研究発表は3本あり、県外から2本、山口県からの1本でした。県外の島根県立矢上高等学校PTA会長大屋光宏氏による「高校存続と魅力化」と、香川県立高瀬高等学校PTA副会長矢野智昭氏による「学校と繋がり、子どもと繋がる」は単Pがそれぞれの学校が置かれている状況をふまえた特色あるPTA活動についての報告でした。山口県は山口県公立高等学校

PTA連合会の板谷正会長より本県高P連の活動について発表がありました。平成25年8月に開催された全国高等学校PTA連合会大会山口大会に向けての取組みから大会後の活動、またその活動の中から2020年に向けてのロードマップ「山口県高P連アクションプランROAD TO 2020」を作成したこと、そして2020年に向けて現在までの活動について経過や成果について説明報告があり、本県高P連自体のこれからの活動の在り方や方向性を示すとともに提案がされました。本県高P連このような取組みは他では見られない初めてのものだと思います。その後それぞれの発表について質疑応答がありました。引き続き閉会行事へと進み、板谷会長の閉会の挨拶(お礼)、次回開催の愛媛県から「坊ちゃん」スタイルで高梨聖丈会長をはじめ愛媛県会員が登場し、「来年は愛媛県松山市でお会いしましょう」と松山市での開催をアピールしました。続いて閉会のことばを森岡智之大会副実行委員長が告げ、会場から大きな拍手がわき起こり大会を無

事終了しました。下関支部の会員の皆様にはスタッフとして、準備から多大なご苦勞をおかけし、大会終了後の見送りまでいただきました。皆様方お一人おひとりのおもてなしの心で大会を支えていただいたおかげで、他県参加者から「おもてなしの心」に多くの感謝が寄せられ、素晴らしい大会だったとお褒めをいた



できました。事故もなく成功裏に終わることができました。有り難うございました。また、会場となった海峡メッセ下関や下関観光コンベンション協会をはじめ関係団体には何かとご支援ご高配をいただき、スタッフや役員にとっても素晴らしい大会にさせていただきました。紙面を利用してお礼申し上げます。

大会終了後、全国高P連の牧田会長



から、全国では9ブロックでこの大会が開催されており、今回この中国・四国地区ブロックの大会が最後の9番目ということでした。そしてこの大会を見られて、さすが中国・四国地区の大会は団結力がすごい、そして山口県ならではの特色ある大会だったと大変高い評価をいただきました。

このあと、会場を移して開催された中国・四国地区役員交流懇談会では、大会成功の盛り上げりをそのままに、下関支部の会員も多く参加し、総勢160名を超える盛会となりました。県教委、

下関市からもご来賓としてご出席をいただき、中国・四国地区の役員・会員をはじめ、県内の役員・会員と労をねぎらいながらの交流ともなりました。しかし、アツという間に時間も経過し、会の終わり「皆さん、来年の中国・四国地区高P連大会は愛媛の松山市でお会いしましょう」ということばに名残は尽き

ませんが、色々な方との交流を図ることがさらなる固い絆を結ぶことになり、次へのしつかりとした活動に繋がっていくと確信できました。この大会をやり上げたという充足感と安堵感が交錯する中、長かったような短かったような今日一日は貴重な体験と想い出になりました。みなさん本当にお疲れ様でした。有り難うございました。



第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会報告

県連副会長 河村聡子

第67回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会が、平成29年8月24日・25

日の2日間、静岡県袋井市にある小笠山総合運動公園エコパのエコパアリーナをメイン会場に、全国から約9400人も参加者を迎え開催されました。2日間とも晴天に恵まれ、日差し強い中バスの車窓からかすかに見える富士山に見送られながらホテル

を後にし会場へと向かいました。

開会式には、8月3日に就任されたばかりの林芳正文部科学大臣をはじめ、多くのご来賓の方々が出席されていました。

表彰式では、優良PTA文部科学大臣表彰を西京高等学校PTAが、全国高等学校PTA連合会会長表彰(個人)を一柳大志、中磯和子前県連副会長のお二人が受賞され、同賞の団体部門で熊毛北高等学校PTAと萩高等学校PTAの2校が受賞されました。受賞された個人・団体の皆さん、本当におめでとございました。

今大会のメインテーマは「有徳の人」づくり、サブテーマは「未来のために行動する「一人」を育てよう」で、「有徳の人」とは、個人として自立した人との関わり合いを大切にする人、より良い社会づくりに参画し行動する人という意味し、例えるなら『独立して頂き高く美しくそびえ、社会の中に豊かなすそ野を広げていく「富士山」のような人』のことだそうです。

開会式後の基調講演では、静岡県出身で静岡大学名誉教授の小和田哲男氏

が「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」と題して、戦国時代の勝ち組の武将たちだが、どう子育てをしていたのか、どのように人づくりをしていたのかを時代背景を交えて講演されました。小和田先生はNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」等の時代考証を担当されていて、戦国時代史の第一人者として知られる歴史学者です。

戦国時代にはまだ寺小屋ではなく、ある程度地位のある武士の子どもはお寺が教育や修行の場で、教育熱心な農民の子どもは旅のお坊さんをお願いして、宿泊していただくかわりに読み書きなどを教えてもらっていたそうです。昔の和歌の中に「一子出家すれば九族天に昇す」と記されており、親から子へ、またその子から孫への教育として「武辺咄(ぶへんばなし)」というものが盛んに行われていて自分の経験談をよく話し聞かせていて、これが後の学校教育へとつながっているのとこのでした。「二度、大敗北を喫した者でなければ名將にはなれない」と言った

武将もいたそうで、我が子にも家来にも成功した例でも失敗した例でも、適材適所の教えを書き残し、しっかりと伝え、才能をうまく見出していたということです。

徳川家康は、1572年、三方ヶ原(静岡県浜松市浜名湖東方に広がる積台地)で武田信玄に負けたことから、「負けた経験がその後の人生をつくる」と悟り、二代目将軍となる秀忠を支える家臣の教育にも力を入れたそうです。エピソードとして、家康が家臣に誰をどの部署についたら良いか聞いたところ、その家臣が自分の好き嫌いで人選したので、「ややもすれば、己が好みに惹かれ人の好みを悲観せん」と一喝し、自分の好みの人ばかりではなく部下の長所を見出せと命じたそうです。家康は「家臣こそ宝」と人材抜擢にも力を注いだと小和田先生はお話されました。

褒め方・叱り方一つをとってもコツがあります。子どもの才能をどう見出し、どう掘り起こすのか、そしてその才能をどのようにして伸ばしていくのか。私たち親も、もう一度しっかり見つけ直す必要があります。

午後からは、7会場に分かれての分



科会があり、各会場メインテーマの「有徳の人」を育てるためにしている活動について発表やディスカッションが行われました。私は第4分科会の家庭教育とPTA「有徳の人」を育てる家庭教育の充実の事例発表と研究協議に参加しました。助言者の石田純夫先生は、「最近の子は反抗期を経験していない子が多く不安な感情にふたをして周りに合わせているので、親自ら自分の人生をエンジョイする。そして子どもたちには本当に今、やりたいことをやらせてあげて、子どもたちが本来の姿でいられるスペースを家庭で与えてあげる。それぞれの子どもたちのペースに合わせて大人はいてあげれば良い。主役は子どもたちです。」と助言されました。

大会2日目は記念講演として静岡県浜松市出身の俳優 寛利夫さんが、「これがオレの生きザマだ！」と題して、司会者との掛け合い型式のトークショーをされました。幼少の頃からとてもやんちゃだったらしく、小学生の頃、実家の隣にあった女子校のグラウンドに2階の自分の部屋から「お姉さん」と叫びながらロケット花火を打ち込んだことがあるといったエピソードをたくさん話されました。4人

兄弟の末っ子で、上の3人と年もうんと離れていたため一人っ子のような感じで大きくなり、ご両親には怒られた記憶はなく、もっぱら寛さんの教育係は2番目のお兄さんだったそうです。「自分は後悔するのが嫌なので、やりたいたと思っことはやってきた。やりたいたことを残したらダメ。」と熱弁され、最後に一言「子どもたちはみんな何かを考えているはず。親子関係を築くためにも絶対にラインは盗み見しないであげてくださいね。」と言われ、講演



は終了しました。今の子どもたちは「大人だなあ」と思っていたら考えられないほどの幼稚な事をしたり、「まだまだ子どもだなあ」と思っていると妙に落ち着いていたり我が子のこともなかなかかわからないことがたくさんあります。だからこそ私たち親は子どもたちが本当の自分でいられる場所、戻ってこられる場所を作ってあげなければなりません。私たち自身親として家庭力の向上、大人としての人間力の向上に向けて、まだまだ学ぶべきことがあります。

また新たな気持ちで子どもたちと向き合い、そして応援していききたいと思えます。参加者の皆さん、とても充実し有意義だった2日間たいへんお疲れさまでした。ありがとうございました。



祝 表 彰

第67回全国大会（静岡大会）で次の団体・個人が表彰されました。

おめでとうございます。

◇全国高等学校PTA連合会会長表彰
（団体の部）

山口県立熊毛北高等学校PTA

山口県立萩高等学校PTA

（個人の部）

中磯 和子氏（山口県立高等学校PTA連合会前副会長）

一柳 大志氏（山口県立高等学校PTA連合会前副会長）

◇優良PTA文部科学大臣表彰

山口県立西京高等学校PTA



平成30年度 主要行事予定

月	日	行 事
5	25(金)	第1回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)
6	1 (金)	山口県高P連総会 (ホテル かめ福)
7	18(水)	第60回中国・四国地区高P連大会愛媛大会 (松山市)
	27(金)	第2回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)
8	20(月)~21(火)	第68回全国高等学校PTA連合会大会佐賀大会 (佐賀市、唐津市、鳥栖市、嬉野市)
9	7 (金)	第3回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)
H31.2	14(木)	第4回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)



9月19日(火)萩高校において「高校生熟議2017」(主催・萩高校・萩高校PTA、後援・山口県公立高等学校PTA連合会)が開催されました。「萩市をより住みやすい町にするための立場で「私たちに何ができるか」を考えることを通じて、生徒たちのコ

平成29年度

「高校生熟議2017」開催

コミュニケーション能力を育み主体的思考力や社会参画意識を高めるということを目的としています。第2学年生徒全員が16グループに分かれ、各ファシリテータの進行によりテーマについて課題や問題点、そして解決策や対応策について話し合いながら取組の企画書を作成し、その後各グループの発表が行われました。当日は保護者、教育委員会、他校PTA役員、中学校関係者、市関係者等多くの参観者があり、グループ発表後は萩市長及び小寄由紀PTA会長の講評で締めくくられ、とても有意義な機会・時間となりました。なお、萩高校での開催は昨年に続いて2回目です。

また、西京高校においても11月7日(火)に「高校生熟議2017」が開催されます。同校では、3年連続の開催となります。



平成29年度 小中高PTA・ 校長会連絡協議会 の開催予定

この協議会は小・中・高の連携協力を図る趣旨から企画され、今年度は県P連が主管担当です。8月4日(金)に山口県教育会館において開催する予定でしたが、他の協議会等との重なりが生じ12月1日(金)に開催することとなりました。

協議及び情報交換では「小中高PTA連携の成果と課題について」について、特に「コミュニティ・スクール」や「地域協育ネット」等の取組について意見交換を図りたいと考えています。

今後も小学校PTAと中学校PTAおよび高校PTAの縦の連携強化を図ることが一層重要になってくるということ、学校・家庭・地域の連携、協働の取組をさらに充実・活性化させていくことを確認することができると有意義な会となるよう取り組んでいきます。

学校紹介

山口県立下関工業高等学校・下関工科高等学校 PTA会長 岡山裕治

はじめに

平成28年4月に県立

下関中央工業高等学校と県立下関工業高等学校が統合し、県立下関工科高等学校が開校しました。下関中央工業高等学校は、明治43年3月に市立下関実業補習学校として開校し、歴史を積み重ね、平成22年10月に創立百周年記念式典が挙行されました。下関工業高等学校は昭和14年4月に下関工業学校として開校し、平成元年に50周年を迎え、現在創立79年です。校訓は、責任・協力・能率で、

自主自立の精神を養い、キャリア教育の実践により産業界を支える人材を多く送り出してきました。現在学校は、下関工業高

校の3年生と下関工科高校の1・2年生が同じ場所で教育活動を行っています。

伝統の行事としては、歓迎登山(竜王山)や送別マラソンなどがあり、卒業生の良き思い出となっています。また、長年に渡る安岡海水浴場周辺の海岸の清掃奉仕活動が認められ、平成29年7月25日(火)に、亀山八幡宮儀式殿にて「第22回下関海の日記念表彰式」で国土交通省九州地方整備局長表彰状をいただきました。これからも続けてもらいたいと考えています。



下関工科高等学校 開校式



第22回 下関海の日記念表彰式

めざす学校像

新しい工科高校の校訓は至誠・探求・創造です。機械工学科(機械コース・造船コース)、電気工学科(電気コース・電子コース)、建設工学科(建築コース・土木コース)、応用化学工学科、定時制機械科を有する、県内としては最大規模の工業高校となることから、下関市内のみならず広く県内に至るまで新たな時代のものづくり産業を支えるポテンシャルティを持った工業人の育成をめざします。

また、各方面で活躍されておられる多くの下関中央工業高校と下関工業高校の卒業生のみなさんの伝統を引き継ぎ、ものづくりへの積極的・主体的な取組を教育の柱として実践し、卒業後はあらゆる現場で戦力となり、信頼される人材、さらには、基本的な生活習慣、基礎学力、資格取得など社会人基礎力を身につけ、職場のリーダーとなる人材の育成をめざしています。

PTAとして

本校のPTA活動は、会長1名・副会長2名・監査2名・会計2名・幹事4名・顧問2名の役員13名を中心に現在、下関工業高校と下関工科高校の2校合同体制で行っております。

年間の主な活動は、5月・6月にPTA参加の企業研修会、8月・9月に就職希望者を対象にPTA参加型模擬面接指導、10月は体育大会におけるジュース・お茶の販売、同10月には日帰りの研修旅行を企画、11月は文化祭における活用品バザー及び飲み物・おにぎりなどといった商品の販売を行っております。



文化祭でのバザー (H28年度)



体育大会での飲み物販売 (H28年度)



高P連中四国大会山口大会 (H29年度)

特に、2回にわたるPTA参加型模擬面接指導については、実施されておられる学校が少ないとお話も伺っており、本校の自慢できるPTA活動の一つではなかるうかと思っております。子供達も本番さながらの緊張感で取り組んでいるところです。

また本年度は、7月14日に下関市の海峡メッセで開催されました第59回中国・四国地区高等学校PTA連合大会山口大会において、事前準備を含め本校PTA持ち味の結束力で、県内他校役員の方々と会場を盛り上げたところです。



PTAによる面接練習 (H29年度)

さて、平成30年度子供達を本校に迎えて下関工科高校は全学年揃うこととなり、生徒数も約700名となり、山口県下で最大の工業高校に生まれ変わろうとしております。来年度に向けての継承期の中、子供達が安心して勉強・部活動に取り組めるよう、『全ては子供達のために！』を合言葉に先生・PTA役員・保護者・地域の皆様と一丸となって子供達をしっかり支援していきたいと思っております。



平成29年度 災害負傷状況

(平成29年9月末日現在)

種別件数

種別	件数
野 球	8
サッカー・フットサル	11
バ ス ケ	18
柔 道	2
バレーボール	3
ラ グ ビー	5
バドミントン	2
陸 上	1
ハンドボール	4
ソフトボール	1
テ ニ ス	1
他	4
計	60



傷病見舞金 額別

見舞金	件数	合計額
¥10,000	14	¥140,000
¥20,000	6	¥120,000
¥30,000	3	¥90,000
¥40,000	3	¥120,000
¥50,000	39	¥1,950,000
計	65	¥2,420,000

学校管理下状況件数

発生時	件数
授 業	10
部 活	49
登 下 校	2
学 校 行 事	2
そ の 他	2
計	65

部位別件数

部位別	件数
骨折	28
脱臼	7
半月板損傷	8
半月板断裂	1
靭帯損傷	15
靭帯断裂	4
腰椎分離症	3
腱板断裂	1
腰痛症	2
関節唇損傷	4
マレット指	2
捻挫	7
関節症	2
その他	13
計	97

(重複しています。)

県教育長へ要望書提出について

- 地区別連絡協議会（7地区）及び常任委員会から提出された要望事項と昨年度までの要望事項を再検討し、次の内容について「平成30年度要望書」として10月30日（月）に板谷会長から県教育委員会浅原教育長に提出いたしました。
- 子どもたちの健全育成とPTA活動の活性化、促進について
 - 県立高校の再編整備とそれに伴う教育現場への配慮支援について
 - キャリア教育の推進と進学支援・就職支援の推進について
 - 施設・設備の充実と安全な教育環境の整備について
 - 部活動の充実活性化について
 - いじめの未然防止や相談・支援体制の充実について
 - 生徒通学時の安全確保等について

全高P連賠償責任保障制度

☆ 掛け金

生徒一人当たり 400円

見舞金給付事業

☆ 傷病見舞金

補償期間 4月1日～翌3月31日

見舞金負担金 全日制 300円

定時制 150円

被保険者

*生徒（日本スポーツ振興センターの決定に基づき給付）

見舞金（最高5万円）

香料 3万円

*保護者（PTA活動中のみ）

入院見舞金 最高3万円

香料 3万円

☆ 障害見舞金 10万円

☆ 死亡見舞金 10万円

各地区別連絡協議会開催日

- | | | | | | | | |
|-------------|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------|
| 7 | 7 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 各地区別連絡協議会開催日 |
| 主管校 | 主管校 | 主管校 | 主管校 | 主管校 | 主管校 | 主管校 | |
| 長北地区（7月21日） | 下関地区（8月4日） | 長南地区（7月7日） | 山防地区（7月21日） | 周南地区（11月10日） | 柳井地区（7月21日） | 岩国地区（6月23日） | |
| 萩商工高等学校 | 下関工業・工科高等学校 | 宇部高等学校 | 山口農業高等学校 | 光高等学校 | 高森高等学校 | | |
| | 小野田工業高等学校 | 華陵高等学校 | | | | | |

保険金請求、忘れていませんか？
今からでもご請求できます！！

2017年3月現在の内容です。

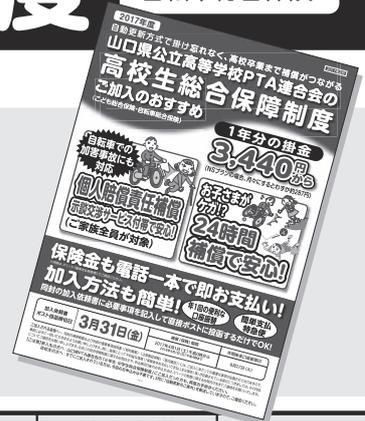
任意加入

山口県公立高等学校PTA連合会 高校生総合保障制度

子ども総合保険
自転車総合保険

大切なお子さまのさまざまな危険にそなえます。

- 学校内外、土・日全てを含む1年365日24時間補償。(学校管理下動産補償を除く) 個人の安心のための総合保障制度です。
- 自転車事故でのケガの補償が、すべてのプランで充実しています。またケガの治療費を実費で補償できるプランが好評です。
- 簡単支払特急便でスピーディなお支払い。ケガで保険金5万円以下なら電話一本で、請求できます。
- 1回の加入手続きで高等学校卒業まで自動更新されます。



個人賠償責任補償	育英費用補償	ケガの医療実費補償	ケガの補償	学校管理下動産補償	被害事故補償	病気の補償
お子さまやそのご家族が、誤って他人にケガをさせてしまったり、他人の物を壊してしまい、法律上の損害賠償責任を負った場合に補償します。	扶養者の方がケガをし、事故の日からその日を含めて180日以内に死亡または所定の重度後遺障害を負った場合にお子さまの育英費用として一時金をお支払します。	お子さまがケガをして医師の治療を受けた場合に実際に負担した治療費用、医師の指示による差額ベッド代や入院時の交通費などを補償します。(細菌性食中毒補償を含む。)	ケガで入院したり、通院した場合の日額補償、所定の手術を受けた場合の手術補償、後遺障害や万一の死亡補償まで幅広く補償します。(熱中症補償、細菌性食中毒補償を含む。)	学校の授業中、登下校中に、お子さま本人が携行している身の回り品が盗難にあたり、破損した場合に補償します。	お子さまが、ひき逃げ事故や誘拐等の犯罪行為により、死亡または所定の重度の後遺障害が生じた場合に補償します。	・病気死亡見舞金 ・疾病入院医療保険金 ・疾病入院療養一時金 ・疾病手術医療保険金 お子さまが補償開始後に発病した病気で1日を超えて入院した場合などに補償します。

※この保障制度のパンフレットは、毎年ご進級・新入学時に学校で配付されます。※具体的な補償内容は、プランごとに異なります。※詳しくはパンフレットをご覧ください。
※上記、補償内容については、主な場合を記載しています。具体的な内容については、下記、「お問合せおよび相談窓口」へお問い合わせください。

お問合せおよび相談窓口

制度内容・加入手続き、事故についてのご相談、住所変更、転校など

土・日・祝日・年末年始を除く(月～金 午前9:30～午後5:30)

☎ 0120-714-855
☎ 0120-504-551

加入者サービス

- **ハロー健康相談24**
電話による健康・医療・ストレスに関するアドバイスします。
- **セカンドオピニオンアレンジサービス**
お子さまの病状・症状の相談をお受けします。
- **メンタルケアカウンセリングサービス**
心の専門家による面談カウンセリングをご提供します。
※上記サービスは、補償期間(保険期間)中、AIU損害保険株式会社がティールック株式会社に委託してご提供します。今後、予告なく変更・中止される場合があります。

山口県公立高等学校PTA連合会
〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館内
TEL 083 (923) 4761 FAX 083 (923) 4785

制度引受保険会社
AIU損害保険株式会社
中国・四国地域事業本部 広島営業支店
〒730-0011 広島市中区基町12-6
富士火災広島ビル TEL 082 (222) 4351
受付時間:午前9:00～午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
(取扱代理店) NOSCインシュアランスサービス(株)
TEL 082 (228) 1222
受付時間:午前9:30～午後5:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

この広告は制度商品の概要をご案内したものです。詳細は「お問合せおよび相談窓口」までお問い合わせください。

[承認番号 A-000743 有効期限 2018-03]

各校PTAの会員である

先生方のための補償制度

山口県公立高等学校PTA連合会 教員総合補償制度

主な補償内容 (2017年3月現在の内容です。)

- ① 先生方の職務遂行に起因する法律上の損害賠償責任を補償(施設所有(管理)者賠償責任保険)
- ② 先生方の個人生活に起因する法律上の損害賠償金などの補償(普通傷害保険個人賠償責任補償特約セット)
- ③ 先生方のケガの24時間補償(普通傷害保険)

詳しくは下記取扱代理店
フリーダイヤル 0120-084-025
「教員総合補償制度係」までお問い合わせください。

制度引受保険会社 **AIU損害保険株式会社** 中国・四国地域事業本部(広島営業支店)
〒730-0011 広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル TEL 082 (222) 4351
受付時間:午前9:00～午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く) URL: http://www.aiu.co.jp
取扱代理店 **NOSCOインシュアランスサービス(株)**
〒730-0013 広島市中区八丁堀14-10 TEL 0120-084-025
受付時間:午前9:00～午後5:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

[承認番号 A-000745 (2018-03)]